コード No. 10321

Anti-Human
sAPPβ-sw (6A1) Mouse IgG MoAb

容量 ： 100 µg

はじめに ： アルツハイマー病の病理学的所見には老人斑や神経原繊維変化があります。老人斑の主要構成タンパク質であるアミロイドβたんぱく質（Aβ）は、βアミロイド前駆体タンパク質（APP: Amyloid Precursor Protein）からβセクレターゼとγセクレターゼにより切り出されることにより生成されます。早期発症型家族性アルツハイマー病患者から APP 遺伝子の変異が報告されており、その変異の一つに Sweden 変異があります。これはβセクレターゼ切断部位から N 端側の 2 アミノ酸に変異（Lys670→Asn と Met671→Leu）があるものです。Sweden 変異は Aβ、特に Aβ42 の産生を亢進させるとの報告（文献 1）もあり、トランスジェニックマウスなども作製されています（文献 2)。このように Sweden 変異を検出することはアルツハイマー病の研究において有用と考えられています。

免疫抗原 ： Human sAPPβ-sw の C 端部分の合成ペプチド（ISEVNL)

起源 ： マウス×マウス ハイブリドーマ
(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 ： 6A1 サブクラス ： IgG_3

精製方法 ： Protein A 精製

包装形態 ： 1 % BSA，0.05 % NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 ： 精製水 1.0 mL 添加（この時濃度は 100 µg/mL となります）

保存方法及び安定性 ： 2～8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 ： 免疫組織染色 約 5 µg/mL にて使用可能
(注：sAPPβ-sw 遺伝子導入 COS 細胞と sAPPβ-wild type 遺伝子導入 COS 細胞を 20 %ホルマリン含有メタノールにて 15 分間固定後の細胞染色において、前処理無しで ABC 法にて染色した結果、sAPPβ-sw 遺伝子導入 COS 細胞にのみ特異的に染色されます)
： ウエスタン･ブロッティング 約 5 µg/mL にて使用可能
： 免疫沈降反応には使用できません。

特異性 ： 本抗体はβセクレターゼで切断された Sweden 変異型可溶性 APP (sAPPβ-sw)に特異的に反応。正常型の切断された可溶性 APP 断片には反応しません。また、リコンビナント全長 APP（Sweden 変異および正常型)にも反応しません。

文献 ：
1. Citron M, Oltersdorf T, Haass C, McConlogue L, Hung AY, Seubert P, Vigo-Pelfrey C, Lieberburg I, Selkoe DJ. Mutation of the beta-amyloid precursor protein in amilial Alzheimer's disease increases beta-protein production. Nature 360 (6405): 672-674 (1992)
2. Hsiao K, Chapman P, Nilsen S, Eckman C, Harigaya Y, Younkin S, Yang F, Cole G. Correlative memory deficits, Abeta elevation, and amyloid plaques in transgenic mice. Science 274 (5284): 99-102 (1996)
3. teinhilb mL, Turner RS, Gaut JR. ELISA analysis of beta-secretase cleavage of the Swedish amyloid precursor protein in the secretory and endocytic pathways. J Neurochem 80 (6): 1019-28 (2002)

株式会社 免疫生物研究所
E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp
URL: http://www.ibl-japan.co.jp

020826/NK
080723/KK
091201/KK
120406/KK

コード No. 10321

Anti-Human
sAPPβ-sw (6A1) Mouse IgG MoAb

容量 ： 10 μg

はじめに ： アルツハイマー病の病理学的所見には老人斑や神経原繊維変化があります。老人斑の主要構成タンパク質であるアミロイドβたんぱく質（Aβ）は、βアミロイド前駆体タンパク質（APP: Amyloid Precursor Protein）からβセクレターゼとγセクレターゼにより切り出されることにより生成されます。早期発症型家族性アルツハイマー病患者から APP 遺伝子の変異が報告されており、その変異の一つに Sweden 変異があります。これはβセクレターゼ切断部位から N 端側の 2 アミノ酸に変異（Lys670→Asn と Met671→Leu）があるものです。Sweden 変異は Aβ、特に Aβ42 の産生を亢進させるとの報告（文献 1）もあり、トランスジェニックマウスなども作製されています（文献 2)。このように Sweden 変異を検出することはアルツハイマー病の研究において有用と考えられています。

免疫抗原 ： Human sAPPβ-sw の C 端部分の合成ペプチド（ISEVNL)

起源 ： マウス×マウス ハイブリドーマ
(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 ： 6A1 サブクラス ： IgG_3

精製方法 ： Protein A 精製

包装形態 ： 1 % BSA，0.05 % NaN_3 含有 PBS 0.1 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 ： 精製水 0.1 mL 添加（この時濃度は 100 μg/mL となります）

保存方法及び安定性 ： 2～8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 ： 免疫組織染色 約 5 μg/mL にて使用可能
(注：sAPPβ-sw 遺伝子導入 COS 細胞と sAPPβ-wild type 遺伝子導入 COS 細胞を 20 %ホルマリン含有メタノールにて 15 分間固定後の細胞染色において、前処理無しで ABC 法にて染色した結果、sAPPβ-sw 遺伝子導入 COS 細胞にのみ特異的に染色されます)
： ウエスタン･ブロッティング 約 5 μg/mL にて使用可能
： 免疫沈降反応には使用できません。

特異性 ： 本抗体はβセクレターゼで切断された Sweden 変異型可溶性 APP (sAPPβ-sw)に特異的に反応。正常型の切断された可溶性 APP 断片には反応しません。また、リコンビナント全長 APP（Sweden 変異および正常型)にも反応しません。

文献 ：
1. Citron M, Oltersdorf T, Haass C, McConlogue L, Hung AY, Seubert P, Vigo-Pelfrey C, Lieberburg I, Selkoe DJ. Mutation of the beta-amyloid precursor protein in amilial Alzheimer's disease increases beta-protein production. Nature 360 (6405): 672-674 (1992)
2. Hsiao K, Chapman P, Nilsen S, Eckman C, Harigaya Y, Younkin S, Yang F, Cole G. Correlative memory deficits, Abeta elevation, and amyloid plaques in transgenic mice. Science 274 (5284): 99-102 (1996)
3. teinhilb mL, Turner RS, Gaut JR. ELISA analysis of beta-secretase cleavage of the Swedish amyloid precursor protein in the secretory and endocytic pathways. J Neurochem 80 (6): 1019-28 (2002)

株式会社 免疫生物研究所
E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp
URL: http://www.ibl-japan.co.jp

020826/NK
080723/KK
091201/KK
120406/KK